

平成 12 年 8 月 1 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 12 年第 2 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	:平成 12 年 7 月 14・26 日
調査海域	伊勢湾	
	流況調査 測点 (別図参照)	
調査船	測量船「いせしお」	
現地調査員	水路部 水路課 海象係長	木村 琢磨
	水路部 監理課 監理係長	藤原 琢磨
	“ 水路課 海象係員	山崎 哲也
	測量船「いせしお」船 長	山本 常夫
	“ 機 関 長	石原 信雄
	“ 航 海 士 補	渡部 千尋
	“ 機 関 士 補	福嶋 力
	京都大学 4 回 生 (学 生)	辻 秀泰
調査項目	流況調査	:水温・塩分・透明度
資料整理	海象係長 木村 琢磨	海象係員 山崎 哲也

2 観測経過

天候は、7月14日が曇りで26日は晴れであったが、海上模様は共に良く、全測点の調査を実施することができた。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

7月14日

水温： 上層は、平年にくらべ1～4 高く、St.6 においては、高温水の中層への入り込みが顕著に見られた。

St.1～5 にかけての下層は、ほぼ平年並であったが、St.1～5 の中層及び St.7 の中・下層が、平年にくらべ1 程度高かった。

塩分： St.1～4 の上層は、平年にくらべ1～1.4 高かったが、St.5～7 の上層は、ほぼ平年並みであった。

St.1～6 にかけての中層において、3.2 の等値線が平年にくらべ1.0 m程度上昇していた。

下層は、ほぼ平年並みであった。

7月26日

水温： St.1～5 の上層は平年にくらべ1～5 高く、St.6～7 にかけての上層は、ほぼ平年並みであった。

St.3～4 の下層が、平年にくらべ1 程度高かったが、その他の地点の中・下層は、ほぼ平年並みであった。

St.2 の中層で、2.1 台の海水の下層への入り込みが見られた。

塩分： 上層は、平年にくらべ1～5 高かった。

中層は、全般的に1程度高かった。

St.3～4 の下層は、ほぼ平年並みであったが、他の地点の下層は、1程度高かった。

7月14日と26日の比較

St.1～2 の表層が、高温低塩分水化していた。

St.4～7 の上層が、低温高塩分水化していた。

St.6～7 の中・下層が、低温化していた。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。